

強風による

果樹等の被害について

十一月八、九日発生の強風により、管内七十ヘクタールの未収穫リンゴ（ふじ・王林）に大きな被害がありました。落果及び傷果の被害額は約八千九百万円、倒木や枝折れ被害は百五十本で約百万円、ビニールハウスの破損被害は二十五棟で約三百四十万円となり、被害総額は九千三百四十万円に達しています。

今年には果樹のみならず農作物全



11月8、9日の強風により落下したリンゴ（曲田地区）

体が不作で、農家収入が減収となつてから、県の救済施策と連携しながら、各種制度資金に対する利子補給など経営再建の対策を講じ、来年度以降の営農意欲の高揚に努めたいと考えています。

大館ふるさと会

について

第二回大館ふるさと会総会は、十一月十二日に東京都内のホテルイースト21で開催されました。当日は首都圏在住者を中心に約三百人のかたがたが出席し、昨年の結

成総会以来一年ぶりの「ふるさと談義の場」となりました。

会場には五大プロジェクトのパネルや三大まつりのポスターなどを展示し、地元情報の提供、当市発展のための意見交換などを行い、会員との交流を深めたところでした。

今回は趣向も凝らし、十一、十二日の両日、イベント会場で産直物産即売会の「あきたの大館朝市」を開設し、ふるさと大館の薫りの高い物産品を販売するとともに、「あきたこま



高規格道路の

現状について

国道7号大館西道路は、昭和六十二年年度に高規格道路として計画変更され、建設省直轄事業で進められています。

計画では延長六・二四キロ、幅員二十二メートルの四車線の自動車専用道路として、南北にインターを設置、国道103号大館南バイパス

ち」のプレゼンなど米の消費拡大のPRを行ったところ、会員や地区住民から大変好評でした。ご支援、ご協力いただいた関係者のかたがたに厚くお礼申し上げます。

ス及び国道7号に接続することになっており、総事業費が百七十億円、今年度は国の二次補正を含め約三十一億円の事業費で施工していると同っています。

これまで、片山地区内国道7号から釈迦内地区内国道7号付近までの用地買収もほぼ終わり、今年度と来年度において全線の用地買収を完了するために、地権者への説明会が行われています。工事については、片山地区内のボックス、沼館地区内の盛土工事が行われているところでした。

次に、国道103号南バイパスは、延長九・九五キロ、幅員二十五メートルの準高規格道路として建設

されています。平成七年度においては根下戸新町と立花地区内の用地買収を進め、さらに、山館地区から池内ランプ間の舗装工事、そして池内ランプ工事を行っています。総事業費が約二百七十五億円で、平成七年度は約四十一億円の事業費で進められているところです。

また、主要地方道比内田代線の板沢地区から国道7号間は昭和六十三年度に着手し、現在工事が進められています。平成八年度の早い時期に供用開始する予定と同っています。

大館能代空港が平成十年十月の開港予定ですので、今後は二ツ井・大館間の高規格道路を予定路線から基本計画路線に格上げし、早期にアクセス道として整備をしていただくよう強力な運動を展開したいと考えていますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

その他の

行政報告

- ▽行政改革大綱の策定について
- ▽大館地区多目的ドームについて
- ▽平成7年度の水稲について
- ▽大館地域職業訓練センターの完成について

- ▽秋のまつり行事について
- ▽病院事業経営健全化団体の指定について
- ▽公共事業の進捗状況について